

レフェリー、ラインズマンに対する新型コロナウイルス感染予防について

新型コロナウイルス感染予防に対して以下の通り通達します。なお、各自治体、関係機関で規定、推奨されている感染予防対策がありましたらその対策も並行運用し、レフェリー活動をお願い致します。

- ① レフェリー登録連盟と所属ブロックエリア外でのレフェリー活動を9月30日まで禁止する。
新型コロナウイルス感染の特効薬が容易に入手できる、あるいは国から感染の状況が沈静化した旨の案内がだされた場合には、活動禁止日程短縮の通達を行う。
9月30日以降の活動に関しては、9月20日頃に状況を判断し通知する。
- ② 毎日の体温測定をし、37.5℃以上の発熱が無いかを自己管理する。
発熱が確認出来た場合は、所属委員長に報告し、レフェリー活動は自粛する。
- ③ 近親者・勤務先等に感染者が出た場合は、その旨を所属委員長に報告し、2週間のレフェリー活動を禁止する。
報告を受けた委員長は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟レフェリー委員長まで報告する。(山内 090-5951-6966)
- ④ 試合に参加しなければならない場合でも以下に注意することを推奨する。
(非公式試合を想定)
 - ・公共交通機関を利用してのリンクへの往来は自粛すること
 - ・更衣室で、他のレフェリー、選手等とは2m以上の間隔を取ること
 - ・選手の用具を調整するために選手に接触しないこと
 - ・ドレッシングルームでの滞在時間を少なくし、終了後は、速やかに退室すること
(着替等は、自宅などで済ませてリンクに行き、時間短縮に努めて下さい)
- ⑤ 公式戦以外にレフェリーを派遣する場合は、2人制システムで実施する。
- ⑥ レフェリー・ラインズマンは、口元・鼻を覆るマスクを着用し、ホイッスルは、飛沫防止のため、電子ホイッスルを使用する事を検討中であり10月開催予定のスマイルリーグの試合で検証する。(マスクは、呼吸のしやすいマスクを着用願います。)



- ⑦ レフェリー・ラインズマンは、選手・チーム関係者との握手を禁止する。
ベンチスタッフ間・プレイヤー同士の握手も禁止する。

- ⑧ ペナルティーベンチアテンダントは、必ずマスクを着用し、選手がペナルティーボックスに入る際にボックス内に入り、扉を閉めゲームがスタートしたら、ボックスの外で待機する事。
ペナルティータイムが切れる 10 秒前に再度、入室し扉の開閉作業をする事。
得点後の選手の退室時の扉の開閉は、選手自らが行う。その後、ペナルティーベンチアテンダントが扉を閉める。

- ⑨ 9 月 30 日までに所属ブロックエリア内においてで大会等が開催される場合で、レフェリー派遣が困難な場合は、日本アイスホッケー連盟レフェリー委員会にご相談下さい。

- ⑩ その他判断に迷うときには、まん延防止に向けた取り組みから判断し、行動いただくようお願いいたします。

以上